

くみあいニュース No. 182

2023.9.8 発行 京都工芸繊維大学職員組合発行
<https://laborunion.xsrv.jp/kitunion>

= 学長選考 =

次期学長候補者へ公開質問状を提出しました

森迫清貴現学長の任期終了(令和6年3月31日)に伴う次期学長候補者の選考が始まっています。本日9月8日(金)に学長候補適任者が公表されましたので、京都工芸繊維大学職員組合より、公開質問状を送付しました(下記参照)。

今回の学長候補者選考では、本学に在職している常勤の職員および役員にたいして意向調査が実施され、質問書・意見書も受け付けられます。しかしながら、手続の詳細が9月8日まで公表されなかったことや意向調査期間が短いこと等を考慮し、組合執行部では候補者に対して公開質問状を提出する準備を進めてきました。

本学職員組合では、これまでも学長選考の過程で各候補者に質問状を提出し、その回答を公表してきました。労働組合法第7条は、使用者が組合の団体交渉を正当な理由なく拒むことを禁じています。質問状は団体交渉ではありませんが、組合と法人とが対等な関係性を有するという法律上定められた事実に対する各候補者の姿勢を問うものとしても、極めて重要なものと位置付けられます。

質問状に対する回答期限は9月15日(金)正午としております。回答が得られ次第、速やかにお知らせいたします。意向調査の参考にしていただけたら幸いです。

京都工芸繊維大学学長候補適任者殿

京都工芸繊維大学職員組合 公開質問状

2023年9月8日

京都工芸繊維大学職員組合 執行委員長 射場 大輔
書記長 竹井 智子

少子化や財政難など国立大学法人をめぐる状況が厳しさを増すなか、国立大学法人京都工芸繊維大学の学長職に立候補されましたことに敬意を表します。

本学職員組合は、これまでの学長選考において、学長候補適任者に対して質問状を提出してきました。この度も、学長候補適任者である貴殿に対して質問状を送らせていただきます。短い期間で大変恐縮ではございますが、2023年9月15日（金）正午までに文書にて回答をお願いいたします。なお、ご回答は組合を通じて本学の全教職員に周知いたします。

ご高配を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 組織の上に立つ者には、経営手腕もちろんながら、倫理面においても範となるような高潔性が求められると思われま。貴殿は、学長にふさわしい資質とはどのようなものだとお考えですか。
2. 貴殿の所信表明書において、大学全体のパフォーマンス向上を実現するためには、「熱意あるいは腹落ちのある」教職員が「結集し群」となることが重要であると強調されています。これを実現するための一層踏み込んだ具体案をお聞かせください。
3. 現在、多くの教員が、人数の削減に対して業務負担が増加すればこれまでの教育・研究の水準を維持することはできないと感じています。業務負担の軽減と適正な人員配置についてのお考えをお聞かせください。
4. 同様に、職員の間でも業務負担の過多や不公平が問題になっており、ここ2年程度、優秀な若手人材の退職が目につくようになりました。このような状況についてどのようにお考えですか。
5. 教職員人事評価における不透明性に対する指摘や、教員採用人事において現場の意見を無視した裁量がなされているという意見が組合に寄せられています。現在の人事評価制度や採用人事のプロセスについてのお考えをお聞かせください。また、今後の改善案をお示ください。
6. 近年、国立大学におけるハラスメントの事例が報道される機会が増えています。本学の組合に対しても教員によるハラスメントについて複数の情報が寄せられており、ハラスメント撲滅は喫緊の課題であると言えます。その実現のための具体的な施策をお聞かせください。
7. 本学の今後のあるべき姿とはどのようなものだとお考えですか。そのビジョンをお聞かせください。
8. 職員組合と法人の今後の関係について、お考えをお聞かせください。

以上

組合へのご意見・ご要望をお聞かせください。

・職員組合の連絡先:kitu_shikko@googlegroups.com

・匿名で声を寄せられる場としてのフォーム:<https://forms.gle/xNYPweCy8LoWVNKA>